

2006 年度前期

神戸大石川研究室

英語中間アンケート結果フィードバック

曜日・時間：月曜 2 時間目

学年：2 年

学部：農学部，理学部

科目名：英語リーディング 2

教科書：English for Global Age with CNN Vol7

授業の方法：教科書を予習。授業内では講師作成の問題プリントにグループワークで解答する。英語での質疑応答。

アンケート参加人数 37 名

最高満足度 9

最低満足度 5

平均満足度 7.14

評価ポイント

自分で質問する形，わかりやすくおもしろい，自由に相談できる，リーディングに限らず英語を総合的にやれること，題材がニュースで社会勉強になる，講義よりも演習中心であること，TOEIC 受験を薦めてくれたこと，追いつめられて他の学生と自然にしゃべれること，平常点重視，チーム重視，教材テーマ，英語に触れる，テスト形式なので予習しがいがある，ワンパターンの授業展開，自分の点数が分かる，宿題が少ない，英語をたくさん聞ける，TOEIC，演習形式，予習が必要なこと，答えを事前に見回ること，TOEIC ポーナス，TOEIC 体験，毎回教材の内容が変わること，予習を分担できる，英語を混ぜた解説，ライティング指導，雰囲気，評価明確，質問しやすい，問題によって英文の中身がよくわかる，ちょうど英文の難しいところがうまく問題になっている，遅刻に厳しいこと，協力して出来る，英文から考察する力がつく，教材が生英語に近い，分量が適度，ぴりぴりしていない，出席すれば一応点がもらえる，教科書の内容がおもしろい，学生が勉強するような配慮が多い，

要改善ポイント

プリントが難しい，質問を聞きに来るのが早い，自分が予習をしていないところの試験対策が不安，教科書が難しい，1 回休むときつい，点数が連帯責任で前夜が不安，穴埋めの手間が面倒，説明が粗い，休みがちな生徒への配慮を，チーム力の不均衡，文法説明が不十分，実際に正確に読めているか不安，解説が早すぎる，TOEIC またやりたい，採点が厳しい，時間が厳しい，返却時に点を公表すること，連帯責任，答えを書く時間が短い，和訳しない，2 つは多い，荷物を置くところがなくて狭い，穴埋めプリントに間違いがある，日本語が早口で聞き取りにくい，優が取れそうにない，連帯性はいやで自分のことは自分でしたい，メール添付の課題提出は難しい，教科書がオーラル向け，質問の難しさにばらつきがある，全体を予習復習する気がなくなる，訳がほしい，採点を甘く，グループで他人に迷惑をかける，他の人のおかげで毎回点が良くなっているのは申し訳ない，採点法が理不尽，実力がないと他人に迷惑をかける，一般常識問題はどうしようもない，問題をやさしく

講師より：授業改善に向けて

アンケートをふまえ，下記の点について，後半授業において改善を行います。

- 1．問題数を減らして回答・解説の時間を増やす
- 2．TOEIC トライアルをもう一度行う
- 3．遅刻については平等の観点から厳格に対応
- 4．文法説明がふさわしい箇所については和訳型問題を作成する

2006 年度前期
神戸大石川研究室
英語中間アンケート結果フィードバック

曜日・時間：月曜 4 時間目

学年：1 年

学部：工学部

科目名：英語オーラル 1

教科書：Hot Beat Listening

授業の方法：発音ルールの練習と発音実践&ポップ音楽を使った聞き取り。授業はグループ制で主として英語で指導。

アンケート参加人数 47 名

最高満足度 10

最低満足度 6

平均満足度 7.93

評価ポイント

音楽がきける，英語で話すことに慣れる，教員，グループ，教室が広々している，歌の聞き取りがよい，発音の仕方が学べる，授業が英語でなされる，雰囲気，グループワーク，TOEIC，発音の特訓，教員の英語がわかりやすく聞きやすい，眠くならない，発音の教え方，日本語が少ない，聞き取りが楽しい，知らない曲を聴ける，教員の脱線，楽，英語を話す気にさせてくれる，震度は適度，意外にためになる，友達と話せる，教員の動きが飽きない，グループの連帯責任で緊張感があってよい，90 分が早く感じる，授業が苦ではない，普通にやっていたらある程度平常点が取れる，授業の受け方がそのままその日のポイントに反映されること，空調があること，発音練習が多いこと，役に立つ，実用的，予習不要，テスト発勝負ではなく出席点が反映されること，ノートをあまりとらなくてよい，英語での授業，英語の話聞く気が出てきた

要改善ポイント

教室が遠い，3 H に移動してほしい，平常点への TOEIC の割合が高すぎる（意見多数），音楽をテープで流したこと，文が簡単すぎる，長い文を話したい，テスト勉強の

仕方が分からない，室温，歌の聞き取りが難しい，もっと話せるように，late again まちがえただけで平常点がさがること，暑い，後半のほうが点が取りにくい，成績厳しい，テンションが低いときにはしんどい，目があうと突然あてられるのは心臓に悪い，席やグループが固定されていること，グループ自由選択のほうがいい，発音のカタカナは書きにくくて難しい，教員の英語説明が早すぎてついていけないことがある，授業への不満ではないがそもそも英語の発音自体がややこしい，教科書でやり残しているところが多い，グループの回答のときに自分の意見が反映されない，配点が日によってばらばら，音楽を聴くだけで英語が聞き取れるようにはならないと思う，最近難しくなった，曲が古い，カナ表記が難しい，単位が難しそう，休んだらきつい，聞く時間を増やしてほしい，

講師より：授業改善に向けてアンケートをふまえ，下記の点について，後半授業において改善を行います。

- 1 .TOEIC トライアルの割合を低め，かつ，たっぷり話していただくため，後半に，もう一つ配点の大きな課題を用意します
- 2 .カタカナ使用についてルールを明確にします
- 3 .成績評価を再度詳細に説明します
- 4 .ショートスピーチを導入します

2006 年度前期

神戸大石川研究室

英語中間アンケート結果フィードバック

曜日・時間：水曜 1 時間目

学年：2 年

学部：法学部

科目名：実用英語

教科書：なし

授業の方法：TOEIC 模擬試験の演習と、CNN のスクリプトの講読を交互に実施。模擬試験はテストゼミ形式で、CNN は予習に基づくグループワークの形態で実施。

アンケート参加人数 23 名

最高満足度 10

最低満足度 5

平均満足度 7.96

評価ポイント

テンポが良い、遅刻チェックがゆるくなった、明るい雰囲気、TOEIC のコツをつかめる、教員の雑談など、TOEIC 訓練、英文を読む機会が与えられた、英語を話す機会、解説丁寧、リーディングの文の内容が面白い、TOEIC 模擬試験を毎回やるので能力の推移がわかりやすい、リーディングをグループでやること、リーディングと TOEIC の両方をやっていること、授業中に英語を話す時間を作ること、問題解説、教員がおもしろい、定期的なリスニング、TOEIC 練習、授業前のちょっとした英会話、効率的、連語などを関連付けて指導したこと、しゃべられること、平常点明確、教員のキャラクター、かたくない雰囲気、実際に使われている英語での学習、リーディングをやっていること（一人では絶対に面倒でやらないので）、TOEIC の答えあわせでリスニングのテープを繰り返し流すこと、参考書などをアドバイスすること、高校でやったことを思い出す、実践的、遅刻にやさしくなった、

改善ポイント

また 1 時間目であること、授業の冒頭に英語で最近の出来事などを聞かれるがそんなに変化にとんだ毎日を送っているわけではない、リスニング訓練をもう少し多く、リスニング対策を、TOEIC 単調なので退屈に陥りやすい、毎回 TOEIC でよい、先生の英語が聞き取れないことがある、TOEIC 向上のための勉強法を聞きたい、ホワイトボード読みにくい、リスニングをあげたい、グループワークはいや、リーディングの回は別の TOEIC のことをしてもいいのでは、英会話の時間を増やす、グループワークは責任を感じる、1H で眠いこと、リーディングをもっと増やす、TOEIC 解説をもっと、単語テストを期待していた、CNN 難しい、リーディングは不要

講師より：授業改善に向けて

アンケートをふまえ、下記の点について、後半授業において改善を行います。

1. 授業前の英会話をより組織化し、みなさんが当たるように変更
2. TOEIC のリスニングの解説をふやす
3. ホワイトボードをなるべくやめて、OHC に切り替える
3. リーディングについては評価する声と不要と言う声がありましたが、やはり「読む」練習をある程度していないと力が落ちると思われますので、ぜひ必要性をご理解ください。

2006 年度前期
神戸大石川研究室
英語中間アンケート結果フィードバック

曜日・時間：水曜 2 時間目

学年：1 年

学部：工学部

科目名：英語オーラル

教科書：Hot Beat Listening

授業の方法：発音ルールの練習と発音実践 & ポップ音楽を使った聞き取り。授業はグループ制で主として英語で指導。

アンケート参加人数 43 名

最高満足度 10

最低満足度 3

平均満足度 6.74

評価ポイント

グループ制、歌を使うこと、部屋が快適、知らない人と話せる、他の人と話せる、宿題がない、英語の音楽がきける、TOEIC 対策が出来る、総合的に楽しい雰囲気、歌詞の聞き取り、雰囲気、教員が面白い、音楽を楽しめる、発音がだんだんと「それっぽく」なること、日本人の誤った発音の指摘、発音の仕組みの指導、発音の仕組みが分かりやすい、極端には難しくない、発音がよくなったこと、ヒントが多い、その場で答えが分かる、内容が面白い、発音がよくなる、英語を強制的に使うこと、教員の英語が聞きやすい(両手でピースで指を曲げる動作は面白いが意味が不明)、音楽のリスニングは興味をひく、教員が英語で話すこと、グループでの相談、厳密な発音が分かる、リスニング力がつきそう、教員が日本人で話が分かる、宿題が少ない、チームでやること、席替え、退屈にならない、発音指導が理論的、評価がそんなに厳しくない、点数が明確、予習が不要、TOEIC でボーナスがつくこと、リスニング力が高まった、他の授業より楽、友人と英語で話すこと、発音の向上、

改善ポイント

授業が難しすぎる、単位が取りにくい、90 分が長い、教室が開くのが遅い、TOEIC 成績が反映しすぎる、教室が遠い、机が狭い、机のすみに物が落ちて取れない、TOEIC 反映しすぎ、発音ばかり、会話が思いつかない、もっと詳しく、時に眠たい、同じ人が何度も当たる、回答時間をもっと長く、自由席にしてほしい、プリントの回収が早い、グループによって差がつく、3 人グループは損、毎回テストのようでプレッシャーがある、連帯責任、英語を書くことが少ない、マンツーマンの対話、ライティングのレポート、期末や実力試験がいや、もっとリスニング、聞くよりも話す指導を、5 階遠い、グループのメンバーで点が左右される、自分でグループを作りたい、単位が取りにくい、グループワークはいや、単位の「救済がない」と言い切っていること、授業内 TOEIC 模試の配点が高すぎる、グループに英語が苦手な人が集まった、もっと簡単に、今週あったことなどを英語であてられるのはいや、優が取りにくい、会話練習が少ない、自分で口を動かすことが少ない、満天が取れない、遅刻に厳しい、席を自由に、後ろは黒板が見えにくい、友人と英語で話すアクティビティは長すぎた、内容が薄い、発音練習ばかり、難しい、点数が取りにくい、ネタが面白くない、歌を最後まで聞きたい、お金のかかる TOEIC が成績にかかわるのはおかしい、毎回班変えを、TOEIC の模擬試験の点が入ることは事前に言ってほしい、単位を楽に取りたい、もっとゆっくりにしてほしい、

講師より：授業改善に向けて

アンケートをふまえ、下記の点について、後半授業において改善を行います。

1. 誤解のないよう、TOEIC 模試のウェイトについて再度説明します
2. 分量のあるリスニングを導入します
3. グループの入れ替えを再度行います
4. グループではなく、個人で点数が出るアクティビティを導入します

神戸大学石川研究室
2006 年度後期
英語中間アンケート結果フィードバック

曜日時間：木曜 3 時間目
学年：1 年
学部：発達科学部
科目名：英語オーラル 2
教科書：Hit Parade Listening
授業の方法：発音の練習とリスニング
中心。英語での質疑応答。

アンケート参加人数 39 名
最高満足度 10
最低満足度 7
平均満足度 8.6
(ただし、14 名は得点評価欄空欄)

評価ポイント
音楽楽しい，授業楽しい，今までにない授業，外国の歌を聞ける，退屈しない，発音の勉強，緊張感がある，眠くない，英語の発音がわかる，リスニングにも巢ピーキングにも役立つ，教員の表情の豊かさ，発音練習，来年も受けたい，意識して発音するようになった，いい歌が多い，一方的でない，たくさん発音できる，教材が歌なこと，使える英語，和気藹々，楽しみながら使える，木 3 楽しみ，あきらめていたスピーキングをがんばろうという気になった，留学したくなった，英語への抵抗が減った，発音の方法がわかりやすい，発音の論理がわかった，テンポのいい授業展開，発音のしくみがわかりやすい，主体的に取り組める，リスニングのトレーニングもなる，先生が面白い，美容院の話，リスニングができるようになる，先生の英語の話を聞く気になる，学生に考えさせること，練習をしっかりとさせるところ，自分の発音のダメなところがわかる，スピーチ，90 分で内容多い，得点形式で楽しくやる気が出る，先生が英語で話してその後で日本語でフォローがあること，クラス全員参加型，グループワーク，発音を一つ一つしっかりとやらせること，すべての学生に一日一回発音させること，

予習が不要，先生がキャラ的に不思議，誰も寝ていない，先生が英語で話すこと，発音指導が論理的，授業の目標が明確，

要改善ポイント
先生の一言がたまに厳しい，急にあって困る，グループを決められる，たまに眠い，もっとしゃべりたい，いろいろな曲を聴きたい，時々むかつく，出来ない人だけグループに固まると困る，回答時間が短い，英語の説明が聞き取れない時がある，一人ひとりの発音が緊張する，飲み物のみたい，先生がたまに怖い，連帯責任，かぜを引いても休めない，発音が下手だった時の反応がきつい，発音練習の時間が短い，急に話を振られてびっくりする，英語ばかりで話されるとわからない，発音のダメ出しにたまに傷つく，先生が早口，発表，突然あてる，後期の席替えないほうがよい，ホワイトボード読みにくい，一回休んだので不安，最終試験不安，スピーチの留意点を後から言うこと(後の人しか参考にできない)，すぐにせかす，話が結構それる，ビデオみたい，採点厳しい，評価シビア，授業テストと実力テストを二つやっていたほうがいい)，テスト厳しそう，成績評価が厳密すぎる，

講師より：授業改善に向けて

- 1．発音練習時間の確保
- 2．回答提出までの時間の確保
- 3．ホワイトボードの板書の改善
- 4．スピーチ希望者に再挑戦を
- 5．テスト方式についての再度の説明

アンケートへのご協力，ありがとうございました。後半もがんばりましょう！

神戸大学石川研究室
2006 年度後期
英語中間アンケート結果フィードバック

曜日時間：木曜 4 時間目

学年：1 年

学部：経済学部

科目名：英語オーラル 2

教科書：Hit Parade Listening

授業の方法：発音の練習とリスニング
中心。英語での質疑応答。

アンケート参加人数 38 名

最高満足度 10

最低満足度 4

平均満足度 7.7

(ただし、1 名は得点評価欄空欄)

評価ポイント

発音練習、英語を理解しようとするクラスの雰囲気、先生が面白い、発音の説明がわかりやすい、話のトーンが聞きやすい、英語で指導すること、発音の改善、グループワーク、歌を使った授業、授業が英語で進むので耳が英語に慣れる、英語の上達法などのミニ講義、高校までと違って実用的、発音の仕組みがわかった、発音を一から学べる、みんなが話すのを恥ずかしがらない雰囲気作り、英語と日本語の発音差を理解できた、発音の細かい指導、英語の基礎的な仕組みがわかった、頻繁な発音練習、説明が明快、たまの雑談、ほとんど英語で授業が展開、発音の重要性の認識、授業の進め方が面白い、退屈しない、参加型、授業のポイントが明快、高校の時にはなかったような内容、内容が興味深い、全員が授業に参加している、先生の英語学習の体験を話すこと、歌が入って親しみやすい、英語を話すことが義務付けられる、スピーチ、音楽や映像を使うこと、洋楽、時に交えられる雑談、授業に来ようという気になった、授業を英語でやること、自分の発音良くなった、授業以外でフレーズを口ずさんでいた私、参加型、先生のキャラ、気が抜けない、ネイティブに通じる英語を目指すこと、

歌を聴く、WS のビデオ、予習が不要、先生の英語、授業に生徒をからめること、進度がちょうどよい、英語側から時には日本語でフォローしてくれること、

要改善ポイント

教室が遠い、緊張する、回答提出までの時間、一日一回平常点をつけること、カタカナを使用、相談する時間、あまり当てないで、席替え不要では、疲れる、試験が不安、スペルが読み取れない、早口、あてられると緊張する、学生の名前を覚えていない、K 棟遠い、英会話の表現なども習いたい、もっと TOEIC 対策とか、連帯責任は個人が正確に評価されるのかという疑問と足を引っ張るのではと言う不安、発音どこが悪いかもっと教えてほしい、体調悪くても休みにくい、紙の回収時間が長い、テンション高すぎ、遅刻に厳しすぎる、質問が難しい、疲れる、進度が速い、ネイティブを目指しすぎ、音楽の音が小さいときがある、席替え、威圧感がある、回答時間短い、先生の英語の話が早口、授業が単調、TOEIC 対策をもっとやる、テスト不安、英語で話す、発音、先生のキャラ、せわしない、きれいに板書してほしい、分からないまま進んでいくことがある、遅刻や忘れ物に厳しすぎる、自分の発音が悪くてグループに迷惑をかける気がする

講師より：授業改善に向けて

1. 発音練習時間の確保
2. 回答提出までの時間の確保
3. ホワイトボードの板書の改善
4. テストと評価方式についての再度の説明

アンケートへのご協力、ありがとうございました。後半もがんばりましょう！

神戸大学石川研究室
2006 年度後期
英語中間アンケート結果フィードバック

曜日時間：水曜 1 時間目
学年：2 年
学部：文学部，発達科学部
科目名：Productive
教科書：英語プレゼン
授業の方法：プレゼンの指導と演習

アンケート参加人数 23 名

最高満足度 10

最低満足度 3

平均満足度 7.6

(ただし 2 名は得点評価欄空欄)

評価ポイント

他の授業より楽しい，1 回の授業でやる範囲が明確，採点基準が明確，先生の話が聞き取りやすい，先生がおもしろい，学生をひきつける工夫がある，発表はやりがいもあるし実践的で良い，英語のプレゼンの仕方が身につく，ビデオも面白い，おもしろいしためになる，パワポ使用，プレゼンの題材が決まっていないこと，プレゼン練習，英語がちゃんと学べる，講師が英語で話す，実技，集中できるので飽きない，先生の話し方，雰囲気がよく楽しい授業，productive という名前に合致，1 日 1 回は英語で話す機会がある，1 回ごとの要点がクリア，先生のテンションとビデオへのコメント，強制的に英語を話すこと，プレゼンの仕方が分かりやすい，英語で話すことになれる，プレゼンの流れが分かった，マナーなどもわかる，プレゼンの流れが分かった，専修発表会でも効果，人のプレゼンを生で聞くこと，講師の英語を聞いていてノンネイティブでどのくらいはなせたらいいのかの目安になる，レベルが高い，文法中心ではない，授業でいつも聞かれるので最近の出来事を英語で何と言うか考えるようになった，授業に参加している実感があり退屈しない，プレゼンについての知識が身につく，英語を積極的に使える，頻繁に質問してくるこ

と，いやでも英語を使う，参加型，他の人の発表を見て学ぶことが多い，評価基準がわかりやすい，

要改善ポイント

プレゼンが予定通りに当たらないこと，もっと英語漬けでもよい，すべて英語にしてほしい，会話の時間もあればよい，ビデオは面白いが見ているほうがはずかしい，授業のチャイムと同時に扉を閉めること(バスに乗れないことも)，課題が多い，プレゼンが当たった日に終わらない，内容がやや難しい，突然あてられること，パソコン苦手だと宿題不利になることも，発表時間の配分と確保，英語が早口で聞き取れないことも，教科書の重要，プレゼンの予定が狂いすぎ，難しい，課題の期限が早い，ハイレベルで毎回へこむ，スピードについていけない，朝早い，難しい，回りのレベルが高すぎる，学生が理解できない説明をどんどん英語で進める，メールを出したくてもパソコンがあいていないと困る，

講師より：授業改善に向けて

1. プレゼンの担当の練り直し
2. 再挑戦の確保
3. 話し方 / 進め方のスピードの調整
4. 会話の時間の確保

アンケートへのご協力，ありがとうございました。後半もがんばりましょう！

< プレゼン担当再調整 >

11月29日

教科書 6 章 (北畑，日下部，坂部)

フリー (請川，奥田，高月，富田，中村，宝迫)

12月06日

教科書 7 章 (飛松，早川，森下)

フリー (牧，松本，山部，赤木，東，西尾)

12月13日

教科書 8 章 (湯浅，米家，竹村)

フリー (山本，今崎，河田，北畑，日下部)

12月20日

教科書 9 章 (藪内，荒井，村上)

フリー (坂部，飛松，早川，湯浅，竹村)

神戸大学石川研究室
2006 年度後期
英語中間アンケート結果フィードバック

曜日時間：水曜 4 時間目

学年：1 年

学部：農学部

科目名：英語オーラル 2

教科書：Hit Parade Listening

授業の方法： 発音の練習とリスニング中心。
英語での質疑応答。

アンケート参加人数 45 名

最高満足度 10

最低満足度 6

平均満足度 8.3

(ただし、15 名は得点評価欄空欄。小数点以下まで記入した学生は整数の値で四捨五入)

評価ポイント

教員の発音が分かりやすい、歌が楽しい、授業があっという間に終わる、英語の発音の本質が指導される、授業自体が快活、学生に英語を話す機会を与える、全般、授業に積極的に参加する気になる、先生が英語で話すので耳がなれる、予習不要、授業がおもしろい、教員がおもしろい、授業がほとんど英語で行われること、show & tell、授業にメリハリがある、ポイントがわかりやすい、クラス全体の雰囲気とのり、先生の話し方、発音を丁寧に指導すること、ビデオや音楽を使う音、誰も寝てない、発音が勉強できる、時々雑談、全員にむらなくあたること、発音の機会が多い、グループでやること、リスニングの回数が多い、能動的、教材が良い、参加の度合いが高い、いすがよい、発音や英語学習についての新発見が次々にある、発音の細かい解説、スピーチがあるので人前で話すのに少しなれる、通じる英語が学べる、実践的、グループ相談制、疲れていても寝ずに授業が出来る仕組みになっている、歌、耳に出来る英語量が非常に多い、本当に英語力をつけようとしている授業のような気がする、英語の発音が少しは良くなった気がする、テンションが高い、かたくるしくない、実用性がある、授業でみたビデオ良かった、先生の英語、発音の練習を何度もやること、発音の仕組みの解説、高校のオーラルと違

って発音重視なこと、発音指導が新鮮、明るい、グループワークで助け合える、退屈しない、魅力的な授業、英語学習の良い刺激になる、動機付けっぽい、

要改善ポイント

TOEICが受けられないので困った、レベルが高い、一人ずつ当たるのが恥ずかしい、日本語も使ってほしい、毎時間集中がきつい、評価が厳しい、説明が早い、たまに出るきつい言葉、先生の忘れっぽさ、一度決めた生徒のキャラを忘れる、イジリすぎ、しんどい、発音の説明が分かりづらい、急に話しかけられるのはつらい、急にあてられること、学生の発音を認めてくれない、グループワークが多い、テンポが速い、発音も成績に加味してほしい、レベルが高すぎる、最後にもっとゆっくり歌を聞きたい、学生にあてた時の考える時間が短かすぎる、机が狭い、4人で相談しにくい、スピーチ、リスニングで同じ箇所を何度もリピートしてくれるが聞き取りにくい、時間的余裕が少ない、机の配置が悪くグループで相談しにくい(タテにグループ作っては?)、説明が分かりにくい時がある、英語の説明が聞き取れないことがある、あてられるのが緊張する、いまだにカセット使っている教室の古さ、授業後の疲労感、スピーチ負担、急にあたる、発音テストはつらい、グループワークがいや、横と相談しにくい、聞き取れない時わからない、毎回の一人ずつの発音、グループでの点数、ついていけない、ゆっくり発音してほしい、テープ巻き戻し時に音が切れている、4時間目で疲れる、病気でも休めない、いじられすぎる、発音の説明のたとえ話がわからない、スピーチは心臓に悪い、同じような人があたりやすい、レベルが高い、緊張する、前に受けたTOEICの点も受理してほしい、

講師より：授業改善に向けて

1. プレゼンの担当の練り直し
2. 再挑戦の確保
3. 話し方/進め方のスピードの調整
4. 会話の時間の確保

アンケートへのご協力、ありがとうございました。
後半もがんばりましょう！